

■プラン名：

アップル創業エンジニア監修 米国発デジタルキャリア教育の日本版探究型学習プログラム（通年プラン）

■企業名：

株式会社ウィル・シード（エドラボ）

■このプランは、事業計画書の以下の項目に対応しています

1. 情報Ⅱ等の教科・科目の開設等

2. デジタル環境の整備と教育内容の充実

3. 理数系科目の充実

4. 情報・理数系学科コースの充実

5. 文理横断的な新しい普通科の設置

● 概要

情報Ⅱ（1）情報社会の進展と情報技術（2）コミュニケーションとコンテンツ（3）情報とデータサイエンス
（4）情報システムとプログラミング（5）情報と情報技術を活用した 問題発見・解決の探究 総合的な探究・部活動

好奇心を起点に、手を動かしながら探究。キャリア意識の芽生えへ。

コーディング、AI、データサイエンス、3Dモデリングなどを、生徒の関心にあわせて自由に組み合わせる。

<対象>

情報Ⅱの授業や総合的な探究の授業、部活動などにご活用ください。

<期待される効果>



●ポイント

ポイント① 日米の情報教育推進者が 監修

アップル創業者スティーブ・ウォズニアク氏とデジタル人材共創連盟 鹿野代表理事の監修のもと、プログラムを制作しています。

当プログラムは、河合塾グループの株式会社ウィル・シードが米国WOZEDチームと連携をしながら日本向けにプログラムのアレンジを行い、学校・教育機関などに提供しています。



WOZ ED

テ=イ連



ポイント② 学校様の導入負担が少ない

「機器」「教材」
「授業実施・サポート」を
トータルでご提供します。

生徒様貸与のデバイスや学校様にある機材を使用してのプログラムから、弊社機器のレンタルなど、ご相談可能です。授業やアセスメント含め、先生方のご負担なく導入可能です。



ポイント③ 次年度からの 学校様の自走をご支援

WOZEDプログラムを
活用した授業をご担当予定
の先生方をご支援します。

教員研修の実施や先生方との協働での授業設計など、次年度以降に授業をご担当する教員様を養成できるようサポート致します。

※詳しくは補足資料をご参照ください。



● 参考価格

例① 通年実施プラン

教材＋授業実施・サポート ※学校様でお持ちのデバイス（PC・タブレット）を活用 | 40名×1クラスの場合

項目	内訳	小計（税込）
教材・授業実施・サポート	・教材（生徒様分ワークシート） ・対面ワークショップ：50コマ（通年：週1-2コマ実施想定） ・アンケート実施・報告 ・教員様向けサポート（研修など） ・WOZED機器の保険 ・次年度以降のプログラム相談 等	7,000,000円
		合計：7,000,000円
旅費		実費精算

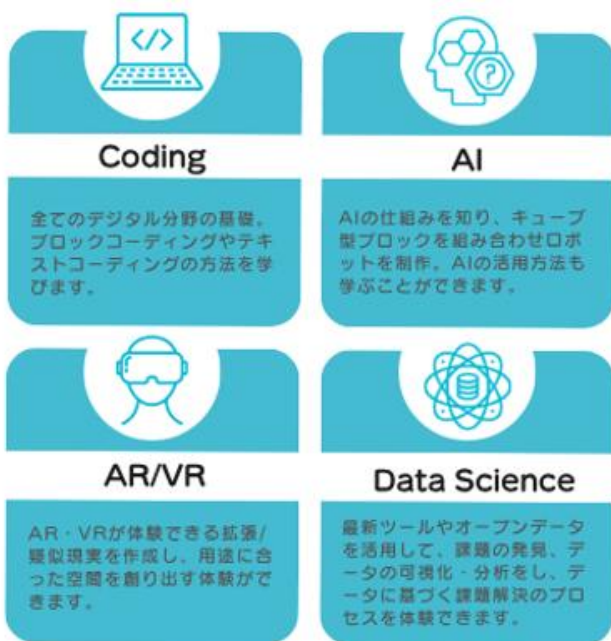
【留意事項】

- ・WOZED機器のみのレンタルや販売は行っておりません。
- ・ご要望により、アセスメントも別途お見積りのうえ追加可能です。
- ・グループ毎の形式にも対応可能です。（10人×4グループの場合など）
- ・一部の実施モジュールは、学校様にて機器を保有していることが実施の前提となります。
（例：3Dモデリングモジュールの場合-学校様で3Dプリンターを保有していることなど）
- ・参考価格につき、詳しくはお問合せください。条件に合わせ、お見積りさせていただきます。
- ・訪問にかかる旅費については別途お見積りさせていただきます。

補足資料① WOZEDプログラムの特徴

WOZEDは、選択されたコースに対応する内容を講義・ディスカッション形式で実施するインプットパートと、生徒自身が課題設定をして、デジタルを活用しながら解決案を作成する流れを实践するアウトプットパートで構成されています。最新のデジタルツールを使って学ぶことで、生徒の好奇心をくすぐり、自発的な学びへと繋げていくことが特徴。「できるようになる」ではなく「手を動かしながら試行錯誤する」「もっと学びたいという意欲を刺激する」ことに目標を置き、デジタルへの興味関心と活用力を高めていきます。

◆インプットパート(選択科目):
各講座での知識と技術力を高める



◆アウトプットパート:

受講したコースで学んだ要素を踏まえて、社会課題解決や価値向上のプロジェクトに挑戦する

◆学びのSTEP:

様々な場面で活用できる
学びのサイクルを習得

step1 学ぶ

デジタルに関心をもつ

デジタル活用例:

- ・国内や海外の事例を学び、理解を深める
- ・生活の中の身近な活用事例についてディスカッションする
- ・実際に最新ツールに触れ、仕組みを知る

step2 考える

デジタルで課題解決する

デジタル活用例:

- ・GoogleEarthを使い、情報を収集する
- ・Pythonを使い、データの加工と分析を行う
- ・コーディングやAIを活用し、課題解決の方法を考える

step3 伝える

デジタルで考えを伝える

デジタル活用例:

- ・画像生成AIでイメージ図を作り、考えを表現する
- ・コーディングを行い、球体ロボットに表現させる
- ・AI搭載の課題解決型ロボットを制作し、表現する



前半（1学期）：「Data Scienceコース」受講。Google Earthやビッグデータを活用して社会／自然環境の課題を見つける。

後半（２・３学期）：「AIコース」受講。AIを活用した社会課題解決を行う。

ウィル・シード
実施



WOZEDプログラムを活用した授業では、**次年度以降にプログラムご担当予定の教員様の養成も兼ね、教員の方向けのサポート**をいたします。プログラム実施の期間（通年、半期、ワークショップ）は、貴校のご要望にあわせてカスタマイズが可能です。DXハイスクール制度を利用し貴校で購入した教材・機器は、次年度以降も貴校にてご活用可能です。

2026年度

株式会社ウィル・シード

- ✓ WOZEDプログラムの実施
- ✓ 教材等の共有
- ✓ 情報IIの教員研修

2027年度

株式会社ウィル・シード 学校教員様協働実施

- ✓ WOZEDプログラムの実施
- ✓ 情報IIの教員研修
- ✓ 教材等の共有

機器の使用方法やWOZEDプログラムで授業を実施するにあたってのTeaching Tipsを共有

学校様

- ✓ ご担当の教員様が授業を実施
- ✓ 前年度教材・機器の活用

株式会社ウィル・シード

- ✓ ご担当の教員様へのサポート
(有償)



次年度以降も継続できるプログラム導入プランと一緒にすり合わせさせていただきます

補足資料③ 次年度以降の継続について

WOZEDプログラムでは、**将来的に教員の方々がWOZEDプログラムを実践**できるように流れを組んでおります。初年度は、弊社が教員の方への研修も兼ねてプログラムを実施し、教材やワークシートだけでなく、教員の方々に活用いただくサポート資料として「ティーチングマニュアル」もお渡し致します。次年度以降は、弊社が**教員の方々の授業設計・実践のサポート**をしながら、教員の方々主導で授業を実践していただけるようご支援します。

初年度

株式会社
ウィル・シード
ファシリテーター



生徒



教員
オブザーバー



デジタル授業を推進できる
仕組みを構築します



ティーチング
マニュアル



教材
ワークシート

次年度以降

株式会社
ウィル・シード
サポーター



教員

ファシリテーター



生徒



通年プラン：3ヵ年デジタル探究プログラム

- ◆対象：都内私立中学校 1年生～3年生
- ◆クラス人数：1学年(各学年2クラス合同)
- ◆導入方法：課外授業として導入
- ◆実施コース：Coding、AI、AR・VR

各学年での合同クラスでグループワークを行い、協働を通じたチームビルディングの促進と、正解のない課題に自らで正しい方向を見出していく思考力の養成を目的としています。

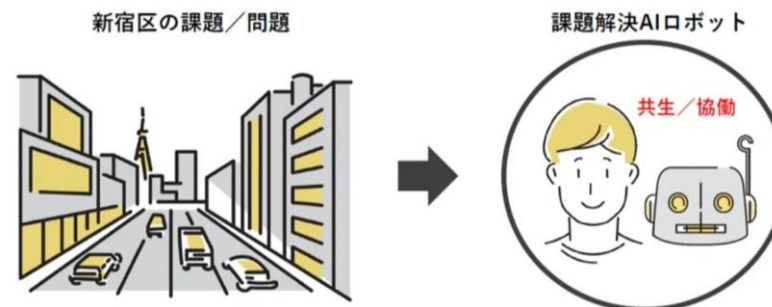


通年プラン：探究活動支援プログラム

- ◆対象：都内私立高校 高校2年生
- ◆クラス人数：約20名
- ◆導入方法：正課授業として導入
- ◆実施コース：AI、Data Science

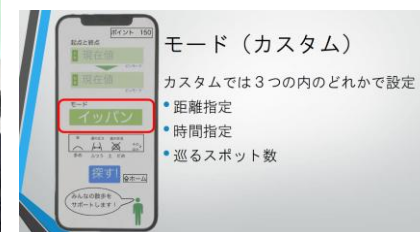
学校の所在地である新宿区の地域創生を掛け合わせ、地域の課題を「デジタルやAIで解決する」という次世代に必須となる思考を養うこと、社会実装・地域連携の試みを目的としています。

新宿区をより良くするために出来ることを考える



エドラボnoteに詳細掲載中 ▼

生徒が開発したアプリ



補足資料④ WOZED活用事例（半期プラン）

都立工科高等学校から“ものづくり”などへの高い意欲や志のある生徒を募り、企業などの施設を利用して先端的学习を実施。高度な知識・技術や工学的思考力・発想力をもった未来の「スペシャリスト」を育成することを目的に、学校間の垣根を越えて協働し、東京都の課題を解決するプロトタイプロボットを作成。



オリエンテーションや最終発表は、株式会社サイバーエージェント様のオフィスにて実施



半期プラン：東京未来ファクトリー

- ◆対象：都立工科高校 1年生～3年生 受講希望者
- ◆クラス人数：22名
- ◆導入方法：課外授業として導入
- ◆実施コース：Coding、AI

地域課題をAIを活用して解決しよう

- AIの仕組みを理解した上で、AIを使ったオーケストラの指揮、詩作、画像生成等を体験
- Cublets robot blocksが自動で学習するように簡単なプログラミングを行い、機械学習モデルを構築
- 学んだAIの理解と可能性を踏まえて、東京都の課題解決のためのAI活用案を企画・発表

「WOZED (ウオズエド)」デジタルキャリアパスウェイ・プログラム

WOZED (ウオズエド)は、スティーブ・ジョブズとともにアップルを創設したスティーブ・ウォズニャックが創始した革新的デジタル学習カリキュラムです。全世界で3,500校の教育機関で正式に導入されています。コーディング/人工知能/AI/機械学習、今の時代に必要なデジタルスキルが身につきます。実際に応用しながら学習することに加え、グループワークを通して、コミュニケーション力、課題解決力、創造性といったソフトスキルを養えることも特徴です。

●応募条件

- 都立工科高等学校等に在籍する生徒：定員22名
- 申込者からの交通費を補助します
- 本プログラムで使用するPC等を貸与します
- 応募は先着順です

●お申し込み・お問合せ先

月 日 曜日 担当の 先生まで

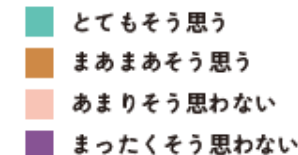
企画・運営：株式会社ウォル・シード

東京都教育委員会様のHPに、詳細掲載中 ▶

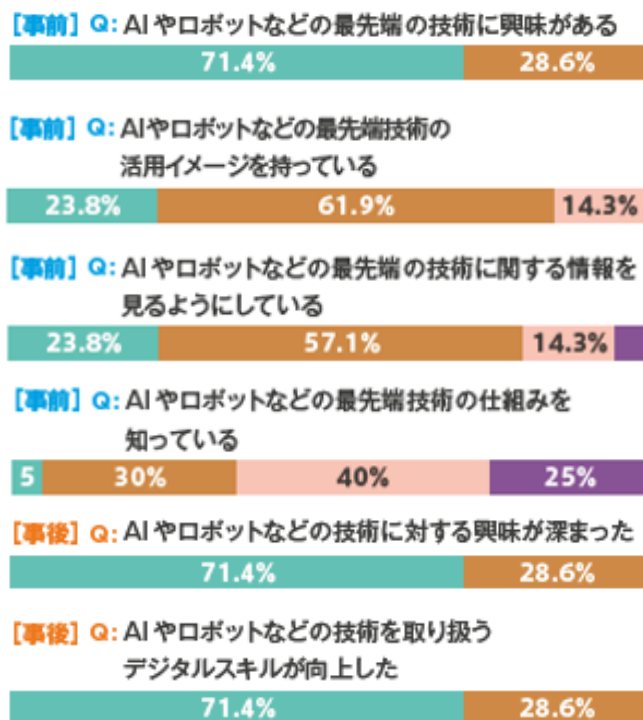


補足資料④ 東京未来ファクトリー：受講者のアセスメント結果・感想

東京未来ファクトリーでは、最先端技術に対する興味・関心のある生徒が、AI学習教材を用いて体験型学習を行い、「**東京都の課題を解決するAI活用を考える**」というテーマでグループ活動を行うなかで身に着くスキルの変化を図るために、本プログラムの参加者を対象に、事前・事後アンケート調査を実施しました。



INTEREST[技術探究力]



COLLABORATION[協働力]



CAREER[キャリア構想力]



【東京未来ファクトリー参加者アンケートより抜粋】

- ・講義を聞くだけでなく、実際にAIロボットを触り動かしてみたことで、最先端技術の仕組みを理解できた。
- ・AIが身近なツールであり自分たちでも簡単に学ぶことができる技術であることに気が付くことができた。

- ・リーダー的な役割を担う人物以外でも、自分の得意分野を活かしチームに貢献することができると分かった。
- ・チームで共に協力して助け合い物事に取り組むことの大切さや、意見を取り入れ発信することを学べた。

- ・働くことに対して以前よりも前向きに考えられるようになった。
- ・将来のAI等の技術の発展を踏まえて自分の働く姿を具体的にイメージすることができた。

ご興味がございましたら、以下メールもしくはエドラボ ホームページ内「お問い合わせ」よりフォームにてお問い合わせください。 ※当プログラムの企画・実施はエドラボが担当しております。

◆企業名：株式会社ウィル・シード エドラボ

◆メール：edxlab@willseed.co.jp

◆ホームページ：株式会社ウィル・シード <https://www.willseed.co.jp/>

エドラボ <https://edxlab.willseed.co.jp/>

Be Real Me.エドラボ!

ABOUT UNIQUENESS PROGRAM / PROJECT CASE CONTACT 

代表プログラム

PROGRAM / PROJECT

スティーブ・ウォズニアク氏が開発し、全米で3,500もの教育機関で導入されているデジタル学習プログラム「WOZED（ウォズエド）」、VRを使って海外疑似体験ができる「WillSeed VR Learning」、グローバル×地域創生やICTの活用を組み合わせた探究型の学び「Across the Uni-verse」。この3つのプログラムを軸にし、実験的なサービス開発を進めていきます。

more 



世界中から厳選した最先端の学びに、
オリジナルコンテンツを組み合わせた独自のプログラムを開発。
グローバル体験の充実、デジタルリテラシーの向上、
人間にしかないソフトスキルの向上という3つの力を伸ばすことで、
社会課題に向かい合い、未来に活躍できる人材を育みます。